

「阿波ふうど情報」

(Vol.87)

阿波ふうど
AWA FOOD

発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話088-634-2667

住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館3階

http://www.tokushima-kousha.jp/brand/

◆(産地情報)JA阿波町・夏秋茄子部会の《千両なす》について

JA阿波町管内で生産される《千両なす》は、県出荷量の約半数を占める歴史ある茄子の主産地(年間生産量：1,400トン/ 出荷時期：7月～10月)で、2014年よりIPM栽培(土着天敵誘因による総合的病害虫・雑草管理)にJA単独でいち早く取り組んでいます。

また近年、茄子の皮に含まれる紫の色素「ナスニン」には、老化のもとである活性酸素を除去する働きやシミ、シワ、乾燥などの肌トラブル解消だけでなく、がんや認知症を防ぐ効果があると注目されています。



千両なす圃場の様子



集出荷場の様子

《産地ならではの食べ方》

紫の色素「ナスニン」を摂取するために皮をむかずに食べることがオススメで、旬の美味しさをダイレクトに味わえる「素揚げ」や「天ぷら」の他、輪切りにしてピーマン、ハムやチーズを乗せてオーブンで焼く「なすピザ」が簡単！！

☆同JA経済部販売課の
土井課長より(写真)☆

◆(産地情報)第1回「サラタルック(イボ無しきゅうり)」現地検討会を開催

9月9日に阿南市に於いて、サラタルックの各産地の関係者や種苗会社、農林水産総合技術支援センター職員など19名が参加し、栽培状況や販売についての情報交換を行いました。

今年の夏は、梅雨が長く、その後は高温乾燥が続いたことから、厳しい環境での栽培となりました。生育後半には樹勢が弱り、先細り、曲がりなど、生育のバラツキが一部で見られたが、生産者からは、普通きゅうりと比較し収量が多い、暑さに強い、整枝作業が少なく作業が楽などの意見がありました。今後は、栽培技術の検討を進めて栽培歴を作成すると共に、調理レシピの作成や販路拡大に向けた検討に取り組む予定。



説明する徳農種苗(株)の米澤氏



あなントマトファクトリー(株)の栽培